

第4学年 音楽科



【学習目標】

- 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

| | | |
|------|-----------|-----------|
| 使用教材 | | |
| 教科書 | 「小学生の音楽4」 | (教育芸術社) |
| 副教材 | | |

| | | |
|---------|-------|-------|
| 持ち物 | | |
| 教科書 | ファイル | 筆記用具 |
| 鍵盤ハーモニカ | リコーダー | タブレット |

【学習の約束】

- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- 楽器を大切に使いましょう。
- よい姿勢で歌いましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】

| ぜん 前 期 | こう 後 期 |
|---|--|
| 1. 音楽で心の輪を広げよう 2. 歌声のひびきを感じ取ろう 3. いろいろなリズムを感じ取ろう 4. ちいきにつたわる音楽に親しもう 5. せんりつのとくちょうを感じ取ろう | 6. せんりつのかさかんとの重なりを感じ取ろう 7. いろいろな音のひびきをたのしまおう 8. にほんのおんがく日本の音楽でつながろう 9. おものおんがくあらわ思いを音楽で表そう ※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習の順序を変える場合があります。 |

ひょうか かんてん ぼめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

| ひょうか かんてん 評価の観点 | | ひょうか ぼめん ほうほう 評価の場面・方法 | |
|----------------------------|---------------------|--|--|
| 技能 知識 ・ | うた 歌う・ えんそう 演奏する | きもちをこめてうたったり、ただ えんそうほう 演奏法を身につけたりする。 | じゅぎょう ようす 授業の様子 うた 歌のテスト けんばん 鍵盤ハーモニカテスト リコーダーテスト |
| ・ 思考 ・ 表現 ・ 判断 | くふう 工夫する・ き 聴く | ゆた はつそう えんそう しかた くふう 豊かな発想をし、演奏の仕方を工夫する。 おんがく き 音楽を聴いて、そのよさや美しさを味わう。 | じゅぎょう ようす 授業の様子 はつげん はっぴょう 発言・発表 かんしょう 鑑賞 うた 歌のテスト けんばん 鍵盤ハーモニカテスト リコーダーテスト ワークシート |
| 取 り 組 む 態 度 | たいど 態度 | しゅたいてき おんがく がくしゅう と く 主体的に音楽の学習に取り組む。 ・がくしゅう けいけん い おんがく がくしゅう と く ・学習したことや経験したことを生かして音楽の学習に取り組もうとしている。 すす おんがく かか きょうどう おんがくがくつどう たの かん ・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、さまざまな音楽に親しもうとしている。 | じゅぎょう ようす 授業の様子 はつげん はっぴょう 発言・発表 ワークシート(ふりかえり) |